

令和4年度
北広島市保健福祉計画検討委員会
第1回 高齢福祉部会

日時：令和5年2月9日（木） 18時30分～19時00分

場所：北広島市役所1階 多目的室4

◇北広島市保健福祉計画検討委員（五十音順）

出席者： 櫻井委員

三瓶委員（部会長）

島谷委員

白崎委員

土田委員

三木委員

福屋委員

欠席者： 對馬委員

◇事務局 工藤高齢者支援課長

野切福祉総合相談室主査

浜山健康推進課主査

福嶋高齢者支援課主査

布施高齢者支援課主査

山田高齢者支援課主査

◇傍聴者 0名

1 開 会

2 部会長挨拶

3 協議事項

事務局：資料1「高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画（令和4年度）の進捗状況」について説明

部会長：事務局からの説明につきまして、ご質問・ご意見などございますか。

委 員：27ページ記載の介護従事者人材バンクについて、就労につながらない要因についてどう考えているか？

事務局：評価の欄にも記載しておりますが、事業者側と求職者側のニーズ合致について検討が必要と考えています。

委 員：30ページ高齢者等地域見守り事業について「ひとり暮らし高齢者の増加に伴い、高齢者の孤立死が発生していることから」とあるが、孤立死の発生件数を教えていただきたい。

事務局：安否不明として福祉総合相談室に連絡があった件数から把握すると、ひとり暮らし、または準ずる人で自宅死であった件数は、令和2年度が4件、令和3年度が9件、令和4年度が現時点で4件となっております。

委 員：孤立死に関連し、今後どのように防いでいくかということで、介護予防拠点助成金及び地域たすけあい活動助成金を活用することで、高齢者の集いを通じてつながりが生まれ、地域の見守り機能をもつことになるので、充実させていくことが重要であると考えますが、件数が全く伸びていない。評価において、制度利用の促進に向けてPRに努めるとあるが、具体的な周知方法について教えていただきたい。

事務局：今後の周知につきましては、現在、市内各地区に配置している生活支援コーディネーターが中心となって、社会資源やニーズの把握、地域で活躍している担い手の発掘、関係者間のネットワークの構築等により、地域資源を活用し、課題を地域の人たちで解決していただけるような仕組みづくりが行われているところです。

住民主体となった課題解決への仕組みづくりも期待されることから、改めて高齢者支援センターや社会福祉協議会を通じて助成金制度について周知を図っていきたいと考えております。

事務局：資料2「北広島市介護保険事業の現状分析」について説明

部会長：事務局からの説明につきまして、ご質問・ご意見などございますか。
(なし)

事務局：資料3「要介護（要支援）認定者の介護度の変化状況」について説明

部会長：事務局からの説明につきまして、ご質問・ご意見などございますか。
(なし)

4 その他
(なし)

部会長：以上で高齢福祉部会を終了します。ありがとうございました。

5 閉 会